

更なる保健・医療・福祉の向上を目指し

～東通村診療所開設10周年記念式典～

10月7日（木）、東通村体育館にて、東通村診療所開設10周年記念式典が開催されました。

この式典は、東通村診療所の開設10周年を記念し、診療所の開設からこれまでの10年を振り返り、住民の健康づくりや将来の村の姿を考えることを目的に開催され、参加者は約300名となりました。

越善靖夫村長から「本日の式典は、快適な生活を営むための保健・医療・福祉の中心的施設の東通村診療所開設10周年を記念するものであり、今後も関係機関との連携・協力体制を整備し、更なる住民サービスの向上を目指します」と式辞が述べられ、続いて地域医療振興協会の吉新理事長の祝辞が述べられました。

引き続き、記念講演、シンポジウムが行われ、記念講演は地域医療振興協会の岩永俊博先生により「みんなで楽しく健康づくり」をテーマに行われ、健康づくりは本人の努力と、行政・地域全体で推進し、健診に

より自分の健康状態を知り病気が発症する前に予防・治療することが必要です、との講演をいただきました。

シンポジウムでは、「診療所開設から10年を振り返り将来の村の姿を考えます」をテーマに、岩永先生の進行のもと、東通地域医療センター長川原田恒氏、いきいき健康推進課総括主任保健師花部美広氏、（有）竹洞介護あしすと代表取締役竹洞孝義氏、東北電力（株）東通原子力発電所総務課長上村正光氏の4名に医療、行政、介護、会社の立場からこれまでの10年間の実績と課題を発表していただき、これから地域社会・診療所・行政が連携・協力して住民の健康を守り、みんなで健康づくりをしていきたいと思います。

式典終了後には、東通村診療所医師住宅開所式が行われました。

この医師住宅は、長期的な医師確保を目指し医療環境の整備、特に住環境の向上を

的として昨年から着手したものであり、この度の完成を記念し、越善村長、南川村議長、川原田東通地域医療センター長などの方々によるテープカットのあと、蒲野沢青年会による屋固めが行われました。



講演に耳を傾ける参加者の皆さん



講師の岩永先生



蒲野沢青年会による屋固め



医師住宅の完成を祝して
テープカットが行われました



健康づくりについてそれぞれの
立場から発表していただきました